

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・2組：時田）（3・4組：時田）（5・6組：時田）（7・8組：時田）

使用教科書：（音楽ⅠTutti+ ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表現する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作る要素について知覚し、感受したこととの関わりを考えて表現する力を身に付けさせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む姿勢を養う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	オリエンテーション 校歌 【知識及び技能】 歌詞の意味について理解し、歌詞を踏まえた歌唱ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の特徴を踏まえ、曲に合わせた発声等の表現の工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を理解した上で、主体的に活動に取り組むことができる。	・一年間の授業の流れや試験についての説明 ・歌詞の読解、歌唱。（感染症の状況によっては歌唱なし等の措置をとる） ・教材 プリント	○			○	【知識及び技能】 歌詞の内容や曲の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 表現に関する要点を把握し、自身の声でどのように表現するか工夫が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を理解し、曲の特徴を感じ、主体的に表現しようとしている。	○	○	○	4
	実技テスト		○					○	○	○	2
	器楽(ギター) 「音階・ソナタK.331によるギター二重奏」 【知識及び技能】 ギターの構造や構え方、チューニングなどの基本的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 タブ譜の仕組みを理解し、ギターと関わらせて演奏することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアやグループでコミュニケーションをとりながら、練習を進めることができる。	・ギターの基本の理解 （構造・構え方・チューニング） ・基本奏法の理解（アポヤンド奏法、アルアイレ奏法） ・難易度別の課題の設定 （経験者にはアルペジオ奏法での伴奏パートを指導） ・教材 ギター、譜面台、プリント				○	【知識・技能】 ギターの基本を理解し、課題の曲を正しい奏法で演奏することができる。 【思考・判断・表現】 タブ譜を読んで、曲の構造を理解し、美しい音色になるような工夫が見られる。 【学びに向かう力、人間性等】 集中して取り組み、より良い音への探求をしようとしている。	○	○	○	8
	実技テスト			○				○	○	○	2
	楽譜の読み方・書き方 【知識及び技能】 楽譜を読む上での基本知識であるト音記号とヘ音記号の音の読み方と主要な音符の種類を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 音の長さの違いを理解し、様々なリズムを読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本知識を理解した上で、地道に読譜や記譜に取り組むことができる。	・ト音記号とヘ音記号の読み方、書き方 ・四分音符を中心とした各種音符の長さとの関わり ・拍子とリズム					【知識・技能】 ト音記号についての楽譜の読み方とヘ音記号についての楽譜の読み方を理解し、音の高さと長さの違いに着目して正しく楽譜を読むことができる。 【思考・判断・表現】 学んだ知識に基づいて、楽譜に書き表したり、拍子やリズムの違いを意識して表そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽譜の基礎的な読み方を理解した上で、実際の楽譜での表し方について考えることができる。	○	○	○	8
	小テスト							○	○	○	1

[illegible]